

シリーズ研修「高齢者向け賃貸住宅の現状と課題を考える」開催報告

(概要)

第2回テーマ 「住まいを計画するノウハウ-高齢者の住まい・設計のポイント」

開催日 2007年2月26日 13:00～16:00

開催地 札幌市住宅管理公社

主催者 住まいのプラットフォーム検討委員会

講師 山本明恵氏(社団法人北海道建築士会、
一級建築士)



2月26日、シリーズ研修「高齢者向け賃貸住宅の現状と課題を考える」の第2回目の研修会を開催致しました。

この研修会は主に高齢者向け賃貸住宅のオーナー様、これからオーナーになりたいと考えられている方、高齢者の住まいに係わるお仕事をされている方を対象にした、「高齢者の住まい」のあり方や計画・経営のノウハウを学ぶ為の研修会です。

全5回の第2回目となります今回の研修会では、第一部と致しまして講師の山本氏によるご講義、第二部と致しまして、受講者によるグループワークを行いました。

第一部の講義では、「高齢者の住まいを考える」と題し、私達が住んでいる北海道の住まいの特性と問題点、高齢者の身体的、精神的な特性、家庭内事故の原因等から高齢者の住まいには何が求められているのかについてのお話がありました。また高齢者だけに限定せず、誰もが安心して暮らせるユニバーサルデザインの必要性や、高齢者の住まいの設計のポイントについての講義の後、終の住まいに対する考え方等について具体的な例をあげながら述べられました。

第二部では受講者を「賃貸住宅オーナー、オーナー希望者」「建設業関係」「その他」の3つのグループに分け、「高齢期の住まいに何を求めるか」についてそれぞれの意見を出し合うグループワークが行われました。



今回参加された27名の受講者の皆様は、賃貸住宅オーナーや建築設計、施工関係、不動産関係、会社員など、年齢も住まいに対する立場も様々でした。同じテーブル内では名刺交換や互いの情報交換や問題、課題の共有など、またそれぞれのテーブル間では異なる視点から見た高齢者賃貸住宅の考え方についての意見を得る事ができたのではないかと思います。

尚、シリーズ研修第3回目「住み続けられるノウハウー高齢者入居支援のしくみ」は3月26日開催予定となっております。3回目以降のテーマ、日時、申込先等の詳細は、HPの高齢者向け賃貸住宅経営者向け「シリーズ研修会」参加募集(トップページの新着情報にあります)をご覧ください。